

# 令和元年度第2回美浜町総合計画審議会議事録

日 時：令和元年12月19日（木）9時30分～12時10分

場 所：美浜町役場 3階 大会議室

出席者：審議会委員14名、事務局5名

審議会 千頭会長、牧副会長、川上委員、岩本委員、吉田委員、野田委員、横田(和)委員、  
廣澤委員、廣重委員、富谷委員、久木委員、岩川委員、伊藤委員、末盛委員

事務局 杉本総務部長、磯貝企画課長、米本総務部主幹、森田企画課係長、村田主査

次 第：1 あいさつ

2 議題

(1) 人口推計の概要について

(2) 住民意識調査等の結果について

(3) 第5次総合計画中間評価（第1章～第3章）について

3 意見交換

4 今後の予定について

1. あいさつ（進行：磯貝企画課長）

- ・杉本総務部長あいさつ
- ・千頭会長あいさつ
- ・欠席者（横井氏、横田全博氏、加藤氏）報告
- ・第1回欠席者（岩本氏、富谷氏、末盛氏）あいさつ

2. 議題（進行：千頭会長）

(1) 人口推計の概要について（説明：千頭会長）

委 員：全国推計値と美浜との決定的な違いは。

会 長：美浜は、20代の女性、特に20代後半の女性の未婚率が高く、出生数も少ない。

委 員：年齢構成の構成比率が知りたい。高齢化が町の財政を圧迫していることを、審議会での  
共通認識としたいためである。

会 長：人口ピラミッドについては次回お示ししたい。年齢は3区分ではあるが資料6pの「人  
口構成」にある。

委 員：福祉大学生の過去の人口データが知りたい。

会 長：正確な数は今出せないが、学部的には転出学部がある一方新学部もできたのでトータル  
では少し減少している。

(2) 住民意識調査等の結果について（説明：森田企画課係長）

会 長：（補足説明）

委 員：道路など生活環境に対する不満感が高い。交通の快適感は大切で子育てにとっても重要。  
また、自由記述が多く厳しい意見。自由記述の多さ、熱心さは美浜の特徴とも言える。

(3) 第5次総合計画中間評価（第1章～第2章）について（説明：各担当課長）

委員：【1-1】の総合公園の整備事業について、えびせんべいの里も周りの整備を考えており民間活力を利用したらどうか。また、町民の森も一体的に活用して欲しい。

委員：【1-7】の公園・緑地の整備について、第2グラウンドのコンディションが悪く、そのような場所でソフトボールをすること自体問題で、町民の参画が期待できずスポーツ自体が衰退する可能性ある。総合公園整備の設計の再検討とは、どのような意味であるのか知りたい。

事務局：総合公園の拡張事業は補助金を利用しながら町が整備する。また、インター付近については、もともと観光施設を含む交流拠点であり、一体的な活用方法について今後検討していく。総合公園には野球場2面を整備する当初計画であったが、その設置予定地に改良土が入っていることが判明し、直ぐに使える造成土ではなく、用地買収には至っていない。ご質問の再検討とは第2グラウンドの代替地グラウンドをどこに整備するかという検討である。当初の計画通り第2グラウンドは、売却予定であり企業を誘致する。グラウンドを総合公園の拡張区域内のどこに持ってくるのかを検討している。

委員：【1-4】港湾の整備と活用、【1-6】排水処理、【1-9】海岸・河川の保全と活用について、野間海岸整備計画見直しの協議が進んでいないこと、また、本郷地区の下水整備について、最後に高潮津波に対する住民の不安について、町はどう認識しているか、それぞれ対する町の考えを教えてください。

事務局：野間海岸整備計画の見直しに関する協議については、平成18年5月が最後になっている。理由としては、当初計画が東日本大震災を始めとした社会情勢の変化により、事業の中身が変わってきた。また県の地震対策のアクションプランが変更された。これらの要因により、調整が出来ていない状況である。

本郷の下水整備だが、整備のタイミングは野間海岸整備に絡める計画であった。都市下水道は主に雨水を処理するものだが、現在は町の排水路を利用しており、緊急性を要しないと判断している。

高潮津波に関しては、県からハザードマップが示されており、避難訓練を実施したり、避難経路を周知している。県のアクションプランに従い、対策事業を進めているが進捗が遅れている。ハード面については多額の費用を要することが課題であると認識している。

委員：野間海岸整備計画見直しについては、町主体でなく、住民が動かないと再開しないということか。

事務局：住民とともに進めたい。それとともに財政的な裏付けも必要である。

委員：道路については、西部線は南進しているが、東部線は武豊で止まっている。知多半島の国道は海岸線であり防災上においても問題である。これは南知多町の問題でもあり、南知多町と連携し早期完成を目指して欲しい。

委員：【1-7】公園・緑地の整備について、高齢者向けの健康遊具を設置することは良い。0歳から100歳までが使える公園整備は賛成だが、今後の展望欄に高齢者のことを書くのであれば、子どもたちが安全に遊べる公園についても書いて欲しい。

委員：アンケートの自由記述に「雑草が生い茂っている」とあった。学生を利用してもらっても良いが、遊びたいと思える公園環境を維持して欲しい。

事務局：今後の展望についてはその通りだが、子どもを考えていないというのではない。近年の傾向として大人が利用するようになってきているので、それを意識した内容になっている。ボール遊びだが、禁止するまでは考えていない。必要な危険対策をとって共存させたい。公園管理の問題は、町の職員以外に地区の住民の力を借りて実施しており、今後も適正な環境維持に努めたい。

委員：**【1-3】**交通ネットワークの充実について、知多厚生病院は、地域の拠点病院である。実際、病院に循環バスで来ているのは南知多の住民の方が多い。南知多のバスとの相互乗り入れを検討して欲しい。

委員：**【2-4】**交通安全について、中学生は自転車通学の生徒もいる。アンケートにも交通安全対策の要望が多い。西海岸は歩道が無い区域があるなど、いろいろ危険がある。

委員：子ども 110 番の看板も利用して欲しい。

事務局：西海岸の国道に歩道が少ないことは認識しており、国に要望している。県にはグリーンベルトを要望している。また、通学路については教職員・PTAにより、毎年点検を実施している。子ども 110 番の看板の交換についても取り組んでいる。大津市・川崎市の例もあり点検については強化する。

委員：**【2-1】**循環型社会の推進について、生ごみの資源化は怎么样了か。また、ごみは減っているがリサイクル率が減っているという原因をどう考えるか。

事務局：EMについては継続しており好評である。PRについてもしっかり行っていく。リサイクル率については大きな課題である。しかし、近年町が把握できない民間独自のリサイクルが増えている。現実的にはリサイクルの総量は増えていると思っているが、引き続き町としても推進していく。

委員：ごみ袋の有料化とはどのようなことか。

事務局：ごみ袋 45L 10 枚入りについて、500 円に値上げして、差額分をごみ処理料として町の収入とする計画である。

委員：有料化はごみ削減に確かに効果がある。但し、庭木など草木については、有料化を控えて欲しい。

事務局：草木も個人のごみであり、削減に努力して欲しい。ただし、ごみとは別に資源ごみ（堆肥、チップ化）として処理したい。

委員：**【2-5】**消防・救急体制の充実について、自主防災会と女性の位置づけが知りたい。**【2-6】**防犯体制の充実について、160 件の犯罪に対しては防犯灯の維持だけでなく防犯カメラの設置が必要ではないか。また、高校生との啓発活動とは何か。

委員：私も自主防災会に入っているが一度も会議が開かれない。会議も開かず訓練だけやって反省会も開かれない。これでは防災訓練にならない。自主防災組織を活かした防災訓練をして欲しい。

事務局：消防・救急体制の充実については、主に消防署や消防団員に関する記載となっており、自主防災会と女性の位置づけについての記載は考えていない。自主防災会は、各会長等の会議を年に4回実施している。これを通じて各防災会の訓練情報を得ている。区長さんには現地の安否確認を実施してもらっている。カメラの設置は各行政区から要望があれば10万円上限で補助しているがいままでに申請はない。高校生との防犯啓発については、河和駅で内海高校生（年末の防犯啓発）、知多奥田駅では日本福祉大学付属高校生（自転車と家の鍵かけの防犯啓発）と実施した。

委員：防災会議については、行政主導でやって欲しい。

事務局：自主防災会単独での訓練等は厳しいという声は聞いている。来年度は職員が現地災害対策本部を設置する訓練を実施する。そこに自主防災会の方々にも多く参加を呼びかけ、ともに訓練したい。

委員：全体を通して、公園整備等でも意見があったように、住民もルール作りに参加できるような配慮が必要ではないか。また、少なくなってきた既存団体に対する支援の仕方・共存の仕方については、検討いただきたい。

【時間の制約上、今回は第2章までとなった】

### 3. 意見交換

【時間の制約上、次回となった】

### 4. 今後の予定について

【第3回審議会 令和2年1月9日（木）午前9時30分～ 役場3階大会議室】

以上